

## 院外処方せんに表示される検査値について

項目	名称	基準値(男性)	基準値(女性)	単位	内容
<b>WBC</b>	白血球数	3.3~8.6	3.3~8.6	× 10 <sup>3</sup> /μ L	細菌性感染症、炎症等で増加します。血液疾患では増加または減少します。
<b>Neutro</b>	好中球比率	42~67	42~67	%	同上
<b>Hb</b>	ヘモグロビン(血色素)値	13.7~16.8	11.6~14.8	g/dL	100ミリリットル中のヘモグロビンの量を示します。血液が赤いのはヘモグロビンによるもので、種々の貧血で低値を示します。
<b>PLT</b>	血小板数	15.8~34.8	15.8~34.8	× 10 <sup>4</sup> /μ L	出血を止めるための重要な働きを持ちます。減少すると出血しやすくなります。
<b>T-Bil</b>	総ビリルビン	0.4~1.5	0.4~1.5	mg/dL	肝・胆道系疾患、溶血性疾患等で増加し、異常に増加した状態を黄疸といいます。
<b>AST</b>	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	13~30	13~30	U/L	肝臓、心臓、骨格筋などに多く含まれる酵素で、肝炎や脂肪肝、心筋梗塞等で上昇します。
<b>ALT</b>	アラニンアミノトランスフェラーゼ	10~42	7~23	U/L	肝臓に最も多く含まれる酵素で、肝炎、脂肪肝等で上昇します。
<b>γ-GT</b>	γ-グルタミントランスペプチダーゼ	13~64	9~32	U/L	常習飲酒、アルコール性肝障害、肝・胆道系疾患等で上昇します。
<b>CK</b>	クレアチンキナーゼ	59~248	41~153	U/L	骨格筋、心筋に含まれる酵素で心疾患や骨格筋疾患、外傷、運動後等で高値になります。
<b>K</b>	血清カリウム値	3.6~4.8	3.6~4.8	mmol/L	下痢、嘔吐、火傷などで低値になり、カリウムの摂取過剰、腎不全、採血時の溶血等で高値になります。
<b>Ca</b>	血清カルシウム値	8.8~10.1	8.8~10.1	mg/dL	副甲状腺機能亢進症などで高値になり、副甲状腺機能低下症、ビタミンD欠乏症、腎不全などで低値になります。
<b>Cr</b>	血清クレアチニン	0.65~1.07	0.46~0.79	mg/dL	腎臓でのろ過機能の指標となり、腎不全、急性糸球体腎炎、尿毒症などで高値を示します。
<b>CRP</b>	C反応たんぱく	0.00~0.14	0.00~0.14	mg/dL	感染症、心筋梗塞などの炎症時に陽性になります。
<b>PT-INR</b>	プロトロンビン時間(国際標準値)	(1.6~2.6)	(1.6~2.6)	—	血液の凝固能を示す検査値です。( )内の数値は、治療域の目安です。
<b>eGFR</b>	イー・ジーエフアール(推算糸球体ろ過量)	90 <	90 <	mL/分/1.73m <sup>2</sup>	血清クレアチニン値と年齢・性別などから算出された腎機能の指標です。腎機能の低下に伴い、低値を示します。
<b>HbA1c (NGSP)</b>	ヘモグロビン・エイワンシー(国際標準値)	4.6~6.2	4.6~6.2	%	ヘモグロビンにブドウ糖が結合したもので、1~2ヶ月前の血糖値を反映します。糖尿病などで高値を示し、貧血などで低値を示します。